

はしがき

放送教育開発センターでは、放送による教育の改善や演出技法の研究のために、放送大学と連携して遠隔高等教育番組を制作している。この番組は「研究開発番組」と呼ばれており、ラジオ・テレビともに45分15本から成っている。できあがった番組は、そのまま放送大学の授業番組としてオンエアされることになっている。この研究開発番組は、他の放送大学授業番組と同様に再放送を含めると4年間放送され、その後改定版が制作されるのが普通である。平成6年度の研究開発番組は次の14科目である。

TV	教育の歴史	ラジオ	家族過程論
	メディアと教育		食生活の成立と展開
	法学入門		教育評価
	民俗文化史		現代学校論
	古典古代史		法の歴史と思想
	宇宙観の歴史と人間		中世の日本文学
	植物と菌の系統と進化		スペイン語 I

本報告書では、この中から「メディアと教育」および「宇宙観の歴史と人間」をとりあげた。「メディアと教育」に関しては、まず、この番組の企画、演出面の工夫、印刷教材との関係、講師論、ディレクター論等をテーマに、番組制作終了後に3人の主任講師と担当ディレクターが行った座談会の記録を紹介する。また、講師を「メディア」としてとらえ、この観点から小町ディレクターが講師論を展開している。講座番組の講師をなさる先生方にとっては、マニュアルとして読んでいただくと得るところが多いにちがいない。

「宇宙観の歴史と人間」については、学生に対して実施したアンケートの結果の紹介とその分析を載せた。担当ディレクター自身が、アンケート結果に基づき、自分の演出を評価・分析したユニークなものである。4年後に改定版を制作することになるディレクターにとって、役に立つだけでなく、多くの教育番組制作者にとっても参考になる普遍性・汎用性を持った報告であるといえる。

最後に、番組の制作に協力してくださった多くの先生方およびアンケート調査に応じていただいた大阪府立大学総合科学部の学生諸氏に謝意を表したい。

研究開発番組制作プロジェクト主査

佐々木 正實